



長照寺だより

# わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242  
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: [info@cyoshoji.or.jp](mailto:info@cyoshoji.or.jp)



つきじー泊(わんぱく)子ども会 (平成30年3月28~29日)



門信徒会親睦研修旅行(平成29年10月7~9日)

「人に仏法の話をして相手が喜んだ  
ときは自分はその相手の人よりも、  
もっと喜んで尊いことだと思っ  
べきである。」

(蓮如上人御一代記聞書)

# 雑感 三十年を振り返る



住職 本持 愚山

一口で三十年、早かったか遅かったか、人それぞれの思いがあろう。小生としては何と早く過ぎた年月であったか。月並みな言い方をすれば「あ!!」と言う間になろう。

昭和の終わり、平成へ突入した時、ジャングルの様相を呈していたこの地に寺院が建立されるなど誰が予想したでしょうか。前人未踏の地は文字通り雑木林が続き自然そのものでした。それが開発と言う大きな力が働き一山一寺の姿が表れたのです。そうです「長照寺」と言うお寺が建立されました。当初は布教所、説教所、言う所の草庵的感は否めない建物で出発し、ご本尊の阿弥陀様だけがお立ちになり私達を見つめ続けて下さっていたのです。きつとやる事なす事が危なっかしいなと思ひ、笑みを傾けていたに違いありません。

そもそも何故この様な地にお寺を建てたかです。それは現代社会にまで伝えられたお釈迦様の教えが、自身の生き方を振り返らず、責任転嫁の日暮らしをしている現代人に少しばかり警鐘を鳴らしてみてもとの思いからなのです。皆様方のお寺のイメージは、亡くなられた方が儀式を通して清らかな仏国土へ行つて頂き私達の世界に帰ってきてはならないと言う思いで「どうぞ安らかに眠り下さい」と、じつとしてほしい。私の人生に危害を加えないで下さい。と願う場所と思つていませんか?。と言う所で、とんでもない思い違いしているのです。こうして伝えられた想いを総じて「祖先供養」と言い、お釈迦様の教えが違った方向へ進んでいる事に憂いを覚えるのでした。

この様な勘違いを払拭する為に建てられたお寺が、皆様の「長照寺」です。爾来お寺は楽しく生きて頂く為に、海外旅行・国内研修・落語の会・ゴルフコンペ・ボウリング大会・通過儀礼(七五三、結婚式、入学入園、くわ入れ式等々のお祝い事)を展開してきました。平成九年には手狭になった草庵から本堂新築を受け、「阿弥陀様」と共に移動、そして「ご動座法要」を勤めさせて頂き、多くのご門徒方々と喜びを分かち合つたのでした。

このような歴史を思い起こす時、一番の思い出は二十周年の時「五木寛之先生」をお招きしご講演の中で、本来のお寺の有り方が長照寺様から感じ取る事ができるとお誉めの言葉をお戴きました。

本当に三十年経つたのですね。何よりも皆様と共に歩んできた月日に感慨深さを覚え、これからもお寺の機能を發揮し歴史を積み重ねていきたいものです。

称名



## 第二十五代専如門主伝灯奉告法要記念

### 築地本願寺境内整備完成慶讃法要・本願寺江戸御坊創建四〇〇年記念法要



長照寺総代

桑原 明文

(門徒宗会議委員  
門徒教区会議員)

#### 「また行きたいお寺」をめざして

最近の我が国における人口動態を見ますと、政府は昨年少子高齢化を「国難」と位置づけしています。

今後、日本の少子高齢化は進み人口減少社会になり、二二〇年には日本の人口は約四、三〇〇万人まで減少すると言われます。

そして、結婚率、出生率の低下から現在の半分は、二世代の内に直系の子孫がいなくなる

と言われます。先祖代々伝えられてきた、お墓や仏壇の継承さえ難しくなっています。

このような時代背景のなかで、都市開教は地方のコミュニケーションとしてのお寺のイメージに基づいた発想では難しいと思われれます。墓終・直葬・〇葬・送骨など、首都圏での動向は必ず何年か後には地方にも波及します。首都圏開教は決して他人事ではありません。

さて、その首都圏開教の拠点であります築地本願寺は、一六二七年浅草の地に「浅草御堂」と呼ばれ創建されました。その後、一六五七年「明暦の大火」と呼ばれる大火事で焼失してしまいましたが、幕府の区

画整理のため、もとの場所への再建がかなわず、替え地として用意されたのが、八丁堀の海上でした。

そこで佃島の門徒が中心になり、本堂再建のために海を埋め立てて土地を築きました。それが「築地」という地名の由来となり、一六七九年「築地御坊」と呼ばれ再建されました。当時、大きな屋根は江戸湊に入る目印となり、現在もにぎわう場外市場のあたりは寺内町でありました。

しかしその後、一九三三年、関東大震災にともなう火災により再び本堂を焼失し、現在の本堂は、東京帝国大学名誉教授で建築史家の伊東忠太博士による設計により、インドの古代仏教建築を模した外観を特徴としながらも、内部は伝統的な真宗寺院の造りとして一九三四年に再建されました。

一九四五年には、東京大空襲により、本堂の焼失は免れたものの、関係堂舎や多くの寺院・門徒が焼け出されるなか、罹災者の救護・支援の拠点としての役割もなしてまいりました。

このように四〇〇年に至る間、幾度もの社会の激変や大火災・大震災・大空襲による困難を極める事態に直面しながらも、親鸞聖人が開顕された浄土真宗のみ教えを多くの人々に伝え、念仏者が集う拠点として、伝統・文化を広く社会に定着させる歴史を刻んできました。

二〇二二年には浄土真宗本願寺派の全国唯一の直轄寺院となり、これまでの「本願寺築地別院」から「築地本願寺」と名称を改め、その機縁として築地本願寺境内地にインフォメーションセンターや合同墓をはじめとする諸整備が二〇二七年十月に完成いたしました。

そして二〇二七年十一月七日、前身となる本願寺江戸御坊が創建四〇〇年を迎えるにあたり、「築地本願寺境内整備完成慶讃法要」並びに「本願寺江戸御坊創建四百年記念法要」を、第二十五代専如門主様ご親修のもとご修行され、長照寺門信徒会としても参拝をさせていただきました。

私は所用により法要のみの参拝でしたが、参加された門信徒の皆様は、その後、歌舞伎座ギャラリー・スカイツリー見学や川越観光等、親睦研修旅行を満喫されたと聞きおよんでいます。

ところで私達の菩提寺「長照寺」は、ご存じのとおり三十年前に都市開教から始まりまして。四〇〇年とは比べようのない年月ですが、集う皆様の思いは一緒でしょう。

このたびのご法要を機縁とし、私たちは、これからの世のなかの動向や現状を十分認識し、過去に問われることなく、時代のニーズに合った意識感覚で「また行きたいお寺」の誕生をめざしたいものです。そして、お互いがお念仏申す身となれるよう精進し、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に向けて」日々歩みましよう。

合掌

# 活動報告

平成二十九年度下期

## 門信徒のつどい

平成二十九年十月二十八日  
：TMOホール（三島商工会議所内）

「あらたなご縁づくり」のもと、ひろさちや 師をお招きし、静岡東組内のご門徒の皆様と一緒に楽しく一席拝聴し、ご講演後は話し合い法座等交流をいたしました。

※写真は7ページに掲載

## 第四十六回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十九年十月三十一日  
：富士エースゴルフ倶楽部

- 優勝 佐藤 勝彦さん
- 準優勝 斎藤 忠男さん
- 第3位 木下 春雄さん



佐藤さん

## 第二十五代専如門主伝灯奉告法要記念

「門信徒会親睦研修旅行」

平成二十九年十月七日～九日  
：築地本願寺・浅草・川越方面

築地本願寺境内整備完成慶讃法要・本願寺江戸御坊創建400年記念法要へ参拝。またスカイツリー見学、川越散策等盛りだくさんの研修旅行でした。



## 報恩講

ご講師「増田 廣樹師」

浄土真宗の門信徒として最も大切なご法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきます。

平成二十九年十一月十九日

：一五〇余名



## 恵みのお参り（七五三のお参り）

：長照寺本堂

「命のつながり・命の尊さ」を伝えていくお参りです。

平成二十九年十一月十二日

- 大橋 こあ ちゃん
- 大橋 真凧（まな） くん

平成二十九年十一月二十三日

- 久原 真子（まこ） ちゃん
- 久原 実子（なおこ） ちゃん

※写真は8ページに掲載



## 境内清掃作業

平成二十九年十二月三日

：長照寺境内（一〇〇余名）

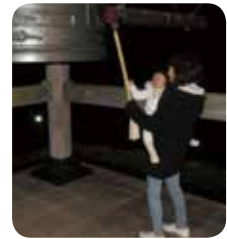
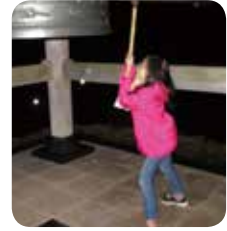
新しい年を迎えるにあたり、感謝・感謝。



## 除 夜 会

百八ツばかりの煩惱では  
ないことを知り、  
これからは少しずつ  
出していきましょう。

平成二十九年十二月三十一日  
…長照寺本堂・梵鐘(百十余名)



## 修正会・新年会

心新たに出発。  
今年こそはと  
毎年思っている  
自分がいた。

平成三十年一月四日 …五十名



## ご正忌報恩講

平成三十年一月九日～十日  
…京都・西本願寺(本山)  
深々と冷える京都ご本山(西本願寺) 参拝。  
身が引き締まりました。



## くわ入れ式

原田家

仏教では起工に感謝するお参りです。  
※一般的には地鎮祭。でも地震は起きますよね

平成三十年一月二十二日



※写真は8ページに掲載

## 東京教区仏教壮年会連盟研修会

平成三十年二月四日  
…築地本願寺

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。

## 春季彼岸会法要

平成三十年三月二十一日  
…一〇〇余名

ご講師 「本持 愚山 住職」



## 東京教区仏教婦人会連盟

## 結成六十周年記念大会

平成三十年三月二十七日  
…パシフィコ横浜・国立大ホール



## つきじー泊(わんぱく)子ども会 (東京教区少年連盟主催)

平成三十年三月二十八～二十九日

…築地本願寺

仏様のおはなし・班対抗ゲーム  
大会・ソニーエクスプロラ  
サイエンス見学等、盛りだくさ  
んの内容を楽しんできました。



※写真は表紙・6・8ページにも掲載



# 今 後 の 活 動 予 定

平成30年

4月7日(土)	祝入園・入学慶讃法要 釋尊降誕・花まつり	本 堂
4月13日(金)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	大熱海国際ゴルフクラブ
5月6日(日)	門信徒会定期総会	本 堂
5月19日(土)	仏教壮年総会・大会	築地本願寺
6月24日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランドボウルみしま
7月22日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境 内
7月29日～31日	お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会)	三島市
8月13日～15日	合同盆法要(全8回)	本 堂
9月23日(日)	秋季彼岸会法要	本 堂
10月14日(日)	寺報(第40号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。

※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。

※その他に親睦の集いを募集・計画中。

( 日頃の忙しさから解放されて  
気持ち軽くなる自分を発見  
できるかもしれません。 )

## つきじー泊(あんぱく)子ども会



門信徒 藤澤咲樹(さき)

●平成三十年三月二十八日～二十九日 ●築地本願寺



# 門信徒のつどい

平成二十九年十月二十八日



長照寺仏社会長

齋藤 善治

「あらたなご縁づくり」のもと、ひろさちや師をお招きし、静岡東組のご門徒の皆様と一緒に話を聴きました。師は、仏教の研究者として広く活躍されており、社会の多くの人たちに知られた有名な先生です。

今回のお話で印象的だった一言だけを個人的解説も加えて紹介します。

● 「南無そのまんま・そのまんま」

大乘仏教では、人間というものは弱くて、愚かで、不完全であり自身自身の努力ではどうにもならないものであるという大前提に立っているのです。仏教の人



間観は、基本的には、人間は、まちがいはかりをする凡夫・愚者であるとみています。

私たち人間がいくら修行を重ねても解決できない人生の問題を抱えており、それは仏様にお任せするしかないのです。

ひろ先生は私たちに大阪弁の「アホ」になれと薦めています。法然聖人も「愚者」になれと言われ、親鸞聖人は自ら「愚禿（おろかなもの）」と名のられました。

このような愚かな人間を救えるのは仏様しかおらず、愚者の救済が仏様の仕事なのです。ですから、わたしたちは愚者のままで仏様に救って頂けると信じて余計な心配はしないほうがよいのです。わたしたち人間の側は、仏様にすべてお任せすればよいとのこと。これを、ひろ先生は「南無そのまんま・そのまんま」といつているのです。

この言葉は仏様の方から私たちの方へ差し向けられる救いの言葉であると理解できません。そして、こうしたお心やお働きと知らされたものは、じつと座っているのではなく、有難うございますと人生を歩ませて頂くことで、賢くなりなさいではなく「そ



のまんま」なのです。

基本的には浄土真宗のお念仏「南無阿弥陀仏」と同じことですから、私は矢張り「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えたいと思います。

ひろ先生のご講演のあと話し合い法座があり、本持組長の司会で楽しい交流もありました。

今回、寺院という枠を離れて街中へ出て、一般の人たちにも開かれた公演を目指しました。一般の飛び入り参加の方々も含まれて、この試みは今後も続け、本当の仏教の中身を知って貰う努力が必要と感じました。

合掌





## 恵みのお参り（七五三のお参り）



- 久原 真子（まこ）ちゃん
- 久原 実子（なおこ）ちゃん



- 大橋 こあ ちゃん
- 大橋 真凧（まな）くん

## 鍬（くわ）入れ式



◆ 原田家 ◆

## つきじー泊（わんぱく） 子ども会

平成30年3月28日～29日 築地本願寺



## 編 集 後 記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。  
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成30年10月14日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで

〒411-0044三島市徳倉1195-817

TEL・FAX 055-988-3900

編集人＝長島・菊沢・斎藤・園田・杉山